

麻酔・蘇生学講座 (手術部・集中治療部を含む)

著 書

- 1 平川奈緒美, 十時忠秀: 2章 麻酔の実際—整形外科手術で用いられる各種ブロック. 糸満盛憲 ほか編. 最新整形外科学大系. 9 周術期管理, リスク管理, 疼痛管理. 第1版 59-67, 中山書店. 東京 2008.
- 2 °松本浩一, 中島幹夫: 重症破傷風の呼吸管理. 岡元和文 編: エキスパートの呼吸管理 357-363, 中外医学社. 東京 2008.

原著論文

- 1 平川奈緒美, 垣内好信, 石川亜佐子, 笹栗智子: 超音波ガイド下神経ブロックの実際 1. 超音波ガイド下星状神経節ブロック. ペインクリニック 29: 11, 1459-1465. 2008.
- 2 MAEDA Y, MITSUMIZO S, GUO FENGLING, KISHI H, MATSUO S, KOBAYASHI S, NAKASHIMA M: Sivelestat relaxes porcine coronary artery via inhibition of Ca²⁺ sensitization induced by a receptor agonist. Journal of Cardiovascular Pharmacology. 51: 5, 476-482. 2008.
- 3 °松本浩一, 大石浩隆, 中島幹夫: バルニフィカス感染症の臨床と日本における疫学. 化学療法の領域 24: 6, 81-88. 2008.
- 4 °水田恒太郎, 藤田亜美, 香月 亮, 小杉寿文, 友廣大輔, 中塚映政, 熊本栄一: 坐骨神経の複合活動電位に対するオピオイドの抑制作用. PAIN RESERCH 23: 4, 185-94. 2008.
- 5 *根本二郎, 小島 禎, 草場耕二, 永沢善三, 大石浩隆, 中島幹夫: Loop-mediated isothermal amplification (LAMP) 法を用いた *Vibrio vulnificus* の迅速検出. 感染症学雑誌 82: 5, 407-413. 2008.
- 6 °OISHI H, KAGAWA Y, MITSUMIZO S, TASHIRO Y, KOBAYASHI G, UDO K, AOKI S, TAKAYANAGI M, NAGASAWA Z, ARAKI K, OHZA N, EGUCHI Y, NAKASHIMA M: A fatal case of necrotizing fasciitis due to bacterial translocation of *Klebsiella oxytoca* J Infect Chemother 14, 62-65. 2008.
- 7 笹栗智子, 佐藤英俊, 香川嘉彦, 平川奈緒美: 当科におけるガバペンチン使用症例の検討. 慢性疼痛 27: 1, 135-138. 2008.
- 8 *Yoshida K, Inoue T, Hirakawa N, Node K: Endoscopic thoracic sympathectomy as a novel strategy for vasospastic angina refractory to medical treatments. Journal of Cardiology. 52, 49-52. 2008.

総 説

- 1 平川奈緒美: “痛み” のスケール. ペインクリニック 29: 12, 1580-1588. 2008.
- 2 °IKEDA Y, KISHI T, KISHI C, MIYAZONO M, OKAZAKI Y, NAKASHIMA M, SAKEMI T, SANAI T, NODE K: Partial Blood Recirculation: A New Trial for Prolonging Filter Life During Continous Hemodiafiltration. Therapeutic Apheresis and Dialysis. 12: 1, 96-99. 2008.
- 3 *陣内伸子, 宮崎紀彰, 中橋弘顕, 中島幹夫: HELLP 症候群の麻酔. 分娩と麻酔 90, 18-22. 2008.

- 4 *片山さつき, 前田祥範, 大津ナツミ, 荒木和邦, 平川奈緒美, 中島幹夫: 甲状腺全摘, 頸部郭清および気管切開術後に感染性動脈瘤からの大量出血を認めた1症例. 臨床麻酔 32:10, 1699-1700. 2008.
- 5 *宮尾秀樹, 熊谷雄治, 北村 晶, 奥富俊之, 菊地博達, 十時忠秀, 西村欣也, 小川 龍: 重炭酸リンゲル液 BR-99S の臨床第II相試験 (探索的試験). 新薬と臨床 57:7, 13-39. 2008.
- 6 *宮尾秀樹, 熊谷雄治, 並木昭義, 多賀紀一郎, 前原康宏, 高松 純, 永澤一郎, 中島幹夫, 小川 龍ほか11名: 開腹手術患者を対象とした重炭酸リンゲル液 BR-99S の検証的試験(第III相). 新薬と臨床 57:7, 40-75. 2008.
- 7 笹栗智子, 中島幹夫: 特発性血小板減少性紫斑病: 帝王切開術の麻酔方法はできるかぎり区域麻酔で. LiSA 15:7, 714-717. 2008.
- 8 上村聡子, 濱田 献, 香月 亮, 力武一久, 中島幹夫: 直接的両心室ペーシングにより左室-大動脈圧較差が軽減した閉塞性肥大型心筋症の心筋切除および僧帽弁置換術の1症例. 臨床麻酔 32:11, 1793-1796. 2008.

学会発表

国際規模の学会

- 1 *KOSUGI T, MIZUTA K, FUJITA T, TOMOHIRO D, KATSUKI R, NARITA T, NAKATSUKA T, KUMAMOTO E: Inhibition by dexmedetomidine of compound action potentials in frog sciatic nerves without α_2 adrenoceptor activation. Neuroscience 2008 (the 38th annual meeting of the Society for Neuroscience). 2008, 11, 15. プログラム・抄録 15-19.
- 2 *KOSUGI T, MIZUTA K, TOMOHIRO D, FUJITA T, KATSUKI R, NAKATSUKA T, NAKASHIMA M, KUMAMOTO E: Dexmedetomidine inhibits compound action potentials in frog sciatic nerves without alpha2 adrenoceptor activation. The 3rd Asian Pain Symposium. 2008, 7, 18. プログラム・抄録 61.
- 3 °KUMAMOTO E, LIU T, FUJITA T, HAI-YUAN YUE, HIRAKAWA N, NAKATSUKA T: FACILITATION BY PHOSPHOLIPASE A2 ACTIVATION OF INHIBITORY SYNAPTIC TRANSMISSION IN RATSUBSTANTIA GELATINOSA NEURONS. IASP 国際ペイン学会. 2008.
- 4 °MIZUTA K, KATSUKI R, KOSUGI T, TOMOHIRO D, LIU T, HASUO T, NAKATSUKA T, KUMAMOTO E: Inhibition by dexmedetomidine of compound action potentials in frog sciatic nerves without α_2 adrenoceptor activation. Neuroscience 2008 (the 38th annual meeting of the Society for Neuroscience). 2008, 11, 15. プログラム・抄録 15-19.
- 5 °MIZUTA K, FUJITA T, KATSUKI R, KOSUGI T, TOMOHIRO D, LIU T, HAI-YUAN YUE, LIAN-HUA PIAO, NAKATSUKA T, KUMAMOTO E: Relationship between the chemical structures of opioids and their inhibitory actions on compound action potentials in frog sciatic nerves. The 3rd Asian Pain Symposium. 2008, 7, 18. プログラム・抄録 60.

全国規模の学会

- 1 *江口春香, 岩橋ゆかり, 奥平 献, 日浦あつこ, 小杉寿文: 癌性疼痛コントロールに対する意識変化はあったのか?—スタッフアンケートによる経時的変化—. 第2回日本緩和医療薬学会年会. 2008, 10, 18.

- 2 平川奈緒美：交感神経の解剖。(リフレッシャーコース6)日本ペインクリニック大会 第42回大会. 2008, 7, 20. 日本ペインクリニック学会誌 15: 3, 230.
- 3 平川奈緒美：ペインクリニック領域における超音波ガイド下星状神経節ブロックの有用性についての検討。(シンポジウム2-1)日本ペインクリニック大会 第42回大会. 2008, 7, 20. 日本ペインクリニック学会誌 15: 3, 269.
- 4 平川奈緒美, 垣内好信, 笹栗智子, 小杉寿文, 中島幹夫：デクスメトミジンの局所静脈内投与の神経因性疼痛モデルにおける効果. 日本麻酔科学会 第55回学術集会. 2008, 6, 14. J. Anesthesia CD-RO18.
- 5 平川奈緒美, 永澤一郎, 垣内好信, 島川勇介, 谷川義則, 中島幹夫：静脈穿刺による末梢神経障害後疼痛患者の検討. 日本麻酔科学会 第55回学術集会. 2008, 6, 14. J. Anesthesia CD-RP2-75.
- 6 *池原絵里, 中平 圭, 香月 亮, 中島幹夫：急性妊娠脂肪肝 (Acute Fatty Liver of Pregnancy: AFLP)の帝王切開術に対する麻酔経験. 日本臨床麻酔学会 第28回大会. 2008, 11, 20. プログラム・抄録 S257.
- 7 *陣内伸子, 宮崎紀彰, 中橋弘顕, 中島幹夫：HELLP 症候群 5 症例の検討. 日本麻酔科学会 第55回学術集会. 2008, 6, 14. J. Anesthesia CD-RQ13.
- 8 垣内好信, 上村聡子, 谷川義則, 笹栗智子, 平川奈緒美：持続性硬膜外ブロックにおける尿閉の検討. 日本ペインクリニック大会 第42回大会. 2008, 7, 20. 日本ペインクリニック学会誌 15: 3, 392.
- 9 *香月 亮, 中川内章, 田中 学, 石川亜佐子, 上村裕平, 中島幹夫：子宮外妊娠手術における輸血管理の検討 (自己血回収装置の有用性). 日本麻酔科学会 第55回学術集会. 2008, 6, 14. J. Anesthesia CD-RP1-66.
- 10 *KOSUGI T, MIZUTA K, FUJITA T, KATSUKI R, TOMOHIRO D, NAKATSUKA T, KUMAMOTO E: Dexmedetomidine inhibits compound action potentials in frog sciatic nerves. Neuroscience 2008 (The 31st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society). 2008, 7, 9. Neuroscience Research 61, S72.
- 11 °松本浩一, 三溝慎次, 井上克一, 山田友子, 中島幹夫：緊急気管内ステント留置術 2 症例の検討. 第36回日本救急医学会総会・学術集会. 2008, 10, 13. プログラム・抄録集 559.
- 12 °松本浩一, 三溝慎次, 光岡正浩, 鳥飼亜利寿, 荒木和邦, 中島幹夫：呼吸器インターベンション治療時の麻酔管理. 第13回呼吸器インターベンション研究会. 2008, 6, 15. プログラム・抄録.
- 13 °松本浩一, 三溝慎次, 鳥飼亜利寿, 荒木和邦, 中島幹夫：当院における気管内手術時の麻酔管理の検討. 日本臨床麻酔学会 第28回大会. 2008, 11, 21. プログラム・抄録 S289.
- 14 三溝慎次, 浦由紀子, 鳥飼亜利寿, 前田祥範, 井上克一, 松本浩一, 大石浩隆, 中島幹夫：ラット腸間膜動脈において NOS2 の抑制が Lipopolysaccharide による内皮依存性過分極反応の減弱を回復する. 35回日本集中治療医学会. 2008, 2, 14. プログラム・抄録 178.
- 15 °水田恒太郎, 藤田亜美, 香月 亮, 友廣大輔, 中塚映政, 熊本栄一：オピオイドによる蛙坐骨神経の複合活動電位抑制とその化学構造との関連. 第46回日本生物物理学会. 2008, 12, 3. プログラム・抄録.
- 16 野口亜紀子, 三溝慎次, 中島幹夫：出生時, 下顎低形成による呼吸不全に対して経口挿管が出来ず, 気管支鏡を使用して経鼻挿管を行った一症例. 日本小児麻酔学会 第14回大会. 2008, 8, 29. 日

本小児麻酔学会誌 46.

- 17 *島川勇介, 三浦大介, 山田友子, 中川内章, 濱田 献, 永澤一郎: 覚醒時に肺水腫となったレミフェンタニル麻酔による破裂脳動脈瘤クリッピング症例〜非破裂瘤手術時との比較. 日本臨床麻酔学会第28回大会. 2008, 11, 21. プログラム・抄録 S315.
- 18 谷川義則, 垣内好信, 平川奈緒美: 茎状突起過長症候群が原因と推考された舌咽神経痛の一例. 日本ペインクリニック大会 第42回大会. 2008, 7, 20. 日本ペインクリニック学会誌 15: 3, 293.
- 19 谷川義則, 松本浩一, 三溝慎次, 中島幹夫: HIT 患者に対しアルガトロバンを用いて僧房弁再置換術を施行したが ACT 回復しなかった 1 症例. 日本心臓血管麻酔学会. 2008, 11, 2. プログラム・抄録 159.
- 20 *上村裕平, 丸野暢彦, 石川亜佐子, 香月 亮: Flo Trac™を用いて管理した褐色細胞腫摘出術 2 例の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会 第28回大会. 2008, 11, 20. プログラム・抄録 S243.

地方規模の学会

- 1 井上克一, 山田友子, 上村聡子, 三溝慎次, 中島幹夫: 腕頭動脈気管瘻より出血を来たした 1 症例. 九州麻酔科学会 第46回大会. 2008, 9, 27. プログラム・抄録 68.
- 2 石川亜佐子, 平川奈緒美, 垣内好信, 笹栗智子, 中島幹夫: Frey 症候群に対してボツリヌスA毒素の局所注入が有効だった 1 例. 九州麻酔科学会 第46回大会. 2008, 9, 27. プログラム・抄録 63.
- 3 石川亜佐子, 上村裕平, 香月 亮: 顔面神経麻痺を伴う特発性顔面痙攣患者のA型ボツリヌス毒素製剤による治療経験. 第26回九州疼痛学会. 2008, 2, 16. プログラム・抄録 10.
- 4 垣内好信, 平川奈緒美, 島川勇介, 香川嘉彦, 中島幹夫: 上下肢の難治性複合性局所疼痛症候群に対して脊髄刺激療法を行った一症例. 第26回九州疼痛学会. 2008, 2, 16. プログラム・抄録 14.
- 5 井上克一, 山田友子, 上村聡子, 三溝慎次, 中島幹夫: 腕頭動脈気管瘻より出血を来たした 1 症例. 九州麻酔科学会 第46回大会. 2008, 9, 27. プログラム・抄録 68.
- 6 *片山さつき, 三浦大介, 山田友子, 島川勇介, 濱田 献, 永澤一郎: レミフェンタニルを用いた全身麻酔直後に肺水腫をきたした一症例. 九州麻酔科学会 第46回大会. 2008, 9, 27. プログラム・抄録 45.
- 7 菊川奈々, 三溝慎次, 山田友子, 松本浩一, 中島幹夫: 点滴漏れを起こした点滴刺入痕に壊死性筋膜炎を発症した 1 症例. 第18回 日本集中治療医学会九州地方会. 2008, 7, 5. プログラム・抄録 64.
- 8 木下麻悠子, 小柳祐希子, 谷川義則, 前田祥範, 三溝慎次, 中島幹夫: 佐賀大学医学部附属病院における術中の発作性心房細動 8 症例の検討. 九州麻酔科学会 第46回大会. 2008, 9, 27. プログラム・抄録 52.
- 9 近藤仁子, 菊川奈々, 井上克一, 上村聡子, 前田祥範, 中島幹夫: 術中の弾性ストッキング着用によると思われる神経障害をきたした一症例. 九州麻酔科学会 第46回大会. 2008, 9, 27. プログラム・抄録 77.
- 10 *丸野暢彦, 笹栗智子, 永澤一郎, 香月 亮, 中島幹夫: 糖尿病性昏睡の一例. 九州麻酔科学会 第46回大会. 2008, 9, 27. プログラム・抄録 71.
- 11 °松本浩一, 三溝慎次, 菊川奈々, 山田友子, 鳥飼亜利寿, 前田祥範, 大石浩隆, 荒木和邦, 中島幹

夫：ARDS に対して HFJV が有効であった Arnold-Chiari 奇形の幼児症例。第18回日本集中治療医学会九州地方会。2008，7，5。プログラム・抄録 71。

- 12 *三浦大介，山田友子，片山さつき，島川勇介，濱田 献，永澤一郎：レミフェンタニルを用いて麻酔管理行った再発性褐色細胞腫摘出術の1例。九州麻酔科学会 第46回大会。2008，9，27。プログラム・抄録 43。
- 13 *中川内章，杉山馨祐，丸野暢彦，上村裕平，香月 亮，中島幹夫：術中の経食道エコー所見により人工心肺の使用を評価した右房に及ぶ腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌摘出術の麻酔経験。九州麻酔科学会 第46回大会。2008，9，27。プログラム・抄録 51。
- 14 仁田亜由美，片山さつき，池原絵里，興梠雅代，前田祥範，中島幹夫：ラジオ波焼灼術（RFA）後に対極板貼付部位に一致したII度熱傷を認めた一症例。九州麻酔科学会 第46回大会。2008，9，27。プログラム・抄録 76。
- 15 °大塚和良，内田順子，毎熊恵子，中島幹夫：当院ICUにおける人工呼吸器に関連するインシデント・アクシデント事例の分析。第18回日本集中治療医学会九州地方会。2008，7，5。プログラム・抄録 53。
- 16 杉山馨祐，丸野暢彦，上村裕平，香月 亮，中島幹夫：Flo Trac™を用いて管理した異所性褐色細胞腫の麻酔経験。九州麻酔科学会 第46回大会。2008，9，27。プログラム・抄録 73。
- 17 谷川義則，垣内好信，平川奈緒美，中島幹夫，松島俊夫，中条恭子：茎状突起過長症候群が原因と考えられる舌咽神経痛の一例。第26回九州疼痛学会。2008，2，16。プログラム・抄録 9。
- 18 谷川義則，三溝慎次，中島幹夫：導入直後に血圧が低下した肺塞栓症の1症例。九州麻酔科学会 第46回大会。2008，9，27。プログラム・抄録 49。
- 19 上村聡子，洲河奈央子，前田祥範，三溝慎次，中島幹夫：ICUにて心肺蘇生を行った高カリウム血症2症例の検討。九州麻酔科学会 第46回大会。2008，9，27。プログラム・抄録 70。
- 20 *上村裕平，香月 亮：外傷性脳脊髄液減少症の治療経験。九州麻酔科学会 第46回大会。2008，9，27。プログラム・抄録 11。
- 21 *山田友子，三溝慎次，菊川奈々，松本浩一，前田祥範，荒木和邦，若宮富浩，松島俊夫，中島幹夫：分娩後に急変した，子癇とHELLP症候群となり多発脳出血を認めた一例。第18回日本集中治療医学会九州地方会。2008，7，5。プログラム・抄録 72。

その他の学会

- 1 *池原絵里，丸野暢彦，上村裕平，香月 亮：腹部大動脈瘤破裂の一例。第4回佐賀若手麻酔科勉強会。2008，10，18。プログラム・抄録 16。
- 2 井上克一，三溝慎次，山田友子，前田祥範，中島幹夫：心臓・大血管手術後患者のICU滞在日数に相関する因子の検討。第4回佐賀若手麻酔科勉強会。2008，10，18。プログラム・抄録 12。
- 3 石川亜佐子，興梠雅代，野口亜紀子，前田祥範：PD術中に突然VTとなり蘇生困難であった1症例。第4回佐賀若手麻酔科勉強会。2008，10，18。プログラム・抄録 20。
- 4 木下麻悠子，谷川義則，三溝慎次，中島幹夫：大動脈解離術後5日目に胃管による胃穿孔を生じた一例。第4回佐賀若手麻酔科勉強会。2008，10，18。プログラム・抄録 14。
- 5 *近藤仁子，上村裕平，香月 亮：腎機能低下患者の上肢末梢血管手術における麻酔法の提案。第4回佐賀若手麻酔科勉強会。2008，10，18。プログラム・抄録 8。
- 6 *丸野暢彦，香月 亮：腰椎椎弓切除術中にVFを起こしPCPSにて救命できた一例。第4回佐賀若

- 手麻酔科勉強会. 2008, 10, 18. プログラム・抄録 21.
- 7 *三浦大介, 山田友子, 中川内章, 島川勇介, 濱田 献: 緊急四肢切断中の高度徐脈治療中に医原性心停止をきたした一例. 第4回佐賀若手麻酔科勉強会. 2008, 10, 18. プログラム・抄録 19.
 - 8 °水田恒太郎, 藤田亜美, 香月 亮, 小杉寿文, 中塚映政, 熊本栄一: オピオイドによる蛙坐骨神経の活動電位抑制とその化学構造との関連. 平成19年度生理学研究所研究会「筋・骨格系と内臓の痛み研究会」. 2008, 12, 7. プログラム・抄録.
 - 9 *中川内章, 三浦大介, 山田友子, 島川勇介, 濱田 献, 永澤一郎: 「IV-PCA (Patient-Controlled Analgesia: 患者自己調節鎮痛法) を用いた術後疼痛管理の試み」. 第17回好生館医学会総会. 2008, 12, 13. プログラム・抄録 21.
 - 10 *中川内章, 山田友子, 三浦大介, 島川勇介, 濱田 献: 高度の開口障害を認めた full stomach の急性上行大動脈解離の麻酔経験. 第4回佐賀若手麻酔科勉強会. 2008, 10, 18. プログラム・抄録 15.
 - 11 *中平 圭: 原因不明の腹部の難治性神経痛に対して五積散が奏効した1例. 第21回日本疼痛漢方研究会. 2008, 7, 26. 講演要旨.
 - 12 *島川勇介, 三浦大介, 山田友子, 中川内章, 濱田 献: 三枝病変患者で非心臓手術後に心室細動で死亡した一症例. 第4回佐賀若手麻酔科勉強会. 2008, 10, 18. プログラム・抄録 18.
 - 13 杉山馨祐, 上村裕平, 上村聡子, 香月 亮: 腰硬麻下帝王切開で高位脊椎麻酔となり挿管を要した1症例. 第4回佐賀若手麻酔科勉強会. 2008, 10, 18. プログラム・抄録 9.
 - 14 田中 学, 上村裕平, 香月 亮: 再発を繰り返す心房性頻脈性不整脈に対して, 長短時間作用型 β 遮断薬の少量持続投与が有効だった重症敗血症の1例. 第4回佐賀若手麻酔科勉強会. 2008, 10, 18. プログラム・抄録 11.
 - 15 谷川義則: 心房中隔欠損症の術後再発症例に対するパッチ閉鎖術の麻酔経験. 第4回佐賀若手麻酔科勉強会. 2008, 10, 18. プログラム・抄録 17.
 - 16 谷川義則, 三溝慎次, 片山さつき: HIT II型患者に対しアルガトロバンを用いて僧房弁再置換術を施行したが ACT が回復しなかった1症例. 第5回麻酔科学サマーセミナー. 2008, 6, 28. プログラム・抄録 29.
 - 17 *山田友子, 三浦大介, 中川内章, 島川勇介, 濱田 献: *Vibrio vulnificus* による壊死性筋膜炎の一例. 第4回佐賀若手麻酔科勉強会. 2008, 10, 18. プログラム・抄録 10.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	中島 幹夫	平成19年度佐賀大学改革推進経費	学内重点配分経費	廃棄物無害化・再資源化システムの構築に関する研究(継続)	1,800
教授	中島 幹夫	平成20年度文部科学研究費補助金	基盤研究(C)	ビブリオ・バルニフィカス感染症に対する	1,200
准教授	平川奈緒美	平成19年度日本学術振興会科学研究費補助金	基盤研究(C)	複合性局所疼痛症候群(CRPS)の病態と治療に関する基礎的・臨床的研究	500
准教授	荒木 和邦	平成19年度文部科学研究費補助金	基盤研究(C)	有明海における細菌感染防止のための抗体検査法確立に関する研究(継続)	800
教育指導講師	前田 祥範	平成20年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業 【臨床】	血管攣縮(スパズム)に対する新しい機序による治療薬の研究	900